



会報

DISTRICT 353

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市本町二丁目
ひ さ ご や

例会日 毎週 火曜日
P.M 12:30~1:30

事務所 鶴岡市馬場町
商工会議所内
☎ 0235 (4) 5775

会長：三井賢二

幹事：高橋正太郎

"Good will begins with you"

By ERNST G. BREITHOLTZ

「善意は先ずあなたから」

1971.1972

第 613 号 1971.7.27 (火) (はれ)

会報はご家族みんなで読ましましょう

〔I〕出席報告

本日の出席	会員数	63名	欠席	阿宗君、荒明君、安藤君、長谷川(文)君、早坂(徳)君、平田君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君
	出席数	45名	席	伊藤君、金井君、今間君、金野君、嶺岸君、男網君、中山君、斎藤(信)君、宮樫君、藪田君
	出席率	71.43%	数	(計18名)

〔III〕ビジター紹介 (会長)

1. 原田行雄君 鶴岡西 R.C
2. 松田善三郎君 〃
3. 五十嵐卓三君 〃
4. 帯谷義雄君 〃

〔食 事〕

〔VI〕ゲスト紹介 (会長)

ハワイ州教育局音楽部スペシャリスト
アレン・ロバートソン氏並びにハワイ州教育局高等学校顧問エル・ドラ・ロバートソン御夫妻を御紹介致します。後程スピーチをお願い致します。三井玉男君が通訳をして下さいますので御紹介致します。

〔II〕お客さま

今回	鶴岡西	鶴岡西	鶴岡西
4名	原田行雄君	松田善三郎君	五十嵐卓三君
前回まで	鶴岡西		
7名	帯谷義雄君		
7月計			
11名			

〔V〕会長報告

去る24日今年度のクラブ活動計画について各委員長の参集のもとに、当会場でクララ第2回のクラブ協議会を開催しました。各委員

会とも非常に良いアイデアを今年の計画を樹立して下さいました。何れ詳細はプリントして皆様のお手もとまでお届け致します。

予算の編成も、大体アウトラインをつかみましたので、もう一度目を通した上、これも近々お届け出来る予定です。

〔Ⅳ〕 ロバートソン御夫妻のお話

(1) ミスター・ロバートソン

ハワイのホノルルから参りました。ここに集りの皆様一言御挨拶申し上げます。3年前の1968年に参りましてから再び今日鶴岡のみなさんと一緒に時間をすごせることを私は非常に喜んでおります。

今回は本州の北部と北海道に参る計画です。本州では青森のねぶた、秋田の竿燈、仙台のたなばたを見学に参ります。

ロータリークラブの若い人達に対するプログラムや活動等を見聞して大変感動しました。そのことについてミセスロバートソンがもう少しお話をしますので、私はこの辺で失礼致します。ゴク로우サマデシタ。&ドウモアリガトウ。

(2) ミセスロバートソン

アロハ!

私はロータリークラブが交換学生の制度に努力されていることに感謝しております。以前私はハワイとミンガンに留学して来た学生たちと話したことがあります。

特にロータリークラブの交換学生の計画は人間同志のふれあいを発展させるのに最良の方法あると思います。そして、これが世界平和に貢献出来る一つの大きな方法と考えています。

その様にしてロータリーの会員の皆さんやロータリーによって送られた学生が世界各地を旅行することによって国際間の紛争が相互の理解によって無くされていくのではないかと思います。

若しみなさんがハワイにお出掛けの節は私達が鶴岡で受けた様なあたたかいおもてなし

をしたいと思ひます。

アリガトウゴザイマス。

〔御夫妻にプレゼント〕

ミスターロバートソン 化物まつり人形
ミセス ロバートソン 御殿まり

〔Ⅶ〕 ゲスト 呂 光弘氏 (台湾)

ロータリーの皆さん今日は! 私は呂(ロ)と申します。私は小麦連合会の台北駐在の代表でございます。今度公用でアメリカへ一ヶ月程行ってまいり、帰りに鶴岡へ寄らせて頂きました。台北と日本は非常に近く3時間程ですので台北へ来られました節はぜひお立寄り下さい。有難うございました。

〔Ⅷ〕 幹事及び委員長報告事項

◎例会場変更と時間変更

東京日本橋R・C→8月の毎火曜日

(3・10・17・24・31)

午後8時30分～9時30分

例会場 バレスホテル2階

新庄R・C→7/30日(金)

午後6時より

三光舎尾上ビヤガーデン

鶴岡西R・C 8/6(金)

午後6時に変更

◎認証状伝達式

東京情報R・C 10/3

新宿→京王プラザホテル

◎会報到着

八戸東R・C、会津坂下R・C

八戸ロータリークラブ 15年史到着

ロータリーソング 奉仕の理想

〔会報委員会より〕

◎張先生より原稿を頂きましたのでこの号に掲載させて頂きます。会報委員会より感謝申し上げます。

≡ 世界社会奉仕、特に昨年の 地区世界社会奉仕をかえりみて

張 紹 淵

世界社会奉仕とは(1971~72年)本年度のロータリー手帳の87頁にあるように、1966年EVANS R.I会長が「BETTER WORLD THROUGH ROTARY」(ロータリーでよりよい世界を)を提唱し、人類の世界に、1人の飢えたる者、1人の文盲者のある限り、それはロータリアンが重大な関心をもちねばならんと云ったことからして、我々の個々の地域社会奉仕活動を、更に国際間にまで、拡げたものであります。

そこで、世界社会奉仕委員会(略して、W.C.S)がR.Iに出来、各地区に世界社会奉仕活動が具体化し、活動を続けて来たのであります。

それで、世界社会奉仕委員会は、国際ロータリー組織の中の特別委員会の一つとして設けられ、そこには、委員長1名、副委員長5名(中に、日本では、齋木亀治郎先生)の構成があり、そのR.I事務局内に、更に世界社会奉仕計画資料調整室があります。

地区の世界社会奉仕委員会は、各地区ガバナーの下に、国際奉仕委員会があり、その中に世界社会奉仕委員会が、直接、地区ガバナーの御指導を受け、尚、地区の国際奉仕委員長と次期ガバナーの御意見も聴いて、地区世界社会奉仕委員会が活動をします。

次に、R.Iの世界社会奉仕委員会からは日本の場合は、R.I副世界社会奉仕委員長齋木亀治郎先生の方から、R.I世界社会奉仕(W.C.S)ニュースが地区ガバナーと地区世界社会奉仕委員長宅に、送られます。

それを全地区ロータリークラブに通達し、全ロータリー会員に周知するようにすることです。

又R.Iの世界社会奉仕計画資料調整室からは、毎年度の初めに、ロータリー新年度のR.I世界社会奉仕のプロジェクトNo.~が沢山記載した書類が、地区ガバナーと、地区世

界社会奉仕委員長宛に送られて来られます。これもW.C.Sニュースと同じように、その全地区のロータリークラブに通達し、全ロータリー会員に周知するようにすることです。

次に、クラブの会員が、これを見て、世界社会奉仕の援助提供をするときには、R.I世界社会奉仕計画資料調整室へ手紙を出して情報要請書式を求めて、クラブの世界社会奉仕委員会、又は、国際奉仕委員会と、クラブ理事会及び会員に計りまして、そのプロジェクトNo.の計画をその書式にかく。その間、援助を受けるクラブとの通信を始め、援助を受けるクラブを激励することなどして、書いた書式をR.Iに送ることです。

これと反対に、自分のクラブが、援助を求める場合としては、同じく、R.I事務局内の世界社会奉仕計画資料調整室宛に計画資料書式を求める。一方、クラブ理事会、国際奉仕委員会と会員が、計った計画を計画資料書式に書きこんで、クラブ会長が署名して、次に、地区ガバナー(又は地区世界社会奉仕委員長)の確認、署名をして、その書類をR.Iの事務局へ送付する。それが世界社会奉仕の計画(プログラム)プロジェクトNo.~として印刷されて、世界中のロータリー地区に配られる。

以上の奉仕を援助したりするのが、地区世界社会奉仕委員会の主な仕事でありました。

地区世界社会奉仕委員会の任務は

- ①地区内のすべてのロータリークラブにこの目的の海外ロータリークラブと提携するように奨励すること。
- ②地区内の各クラブと定期的接触及び、地区集合や、都市連合会等を通じて、世界社会奉仕プログラム(小企業相談所を含むプログラム)に対するよりよき理解と参加を推進すること。
- ③地区内のクラブを激励すること。
- ④世界社会奉仕計画を審査し、提出する書類を速く、地区ガバナーの署名をしてもらって、R.Iに送付すること。
- ⑤援助資源の提供可能なクラブを奨励すること。
- ⑥世界社会奉仕の目標と、その業績を地

区民衆の適当な伝達機関にも発表すること。
⑦地区レベルの世界社会奉仕の実施をすること。
⑧地区内の世界社会奉仕活動の記録を、定期的に、地区ガバナー及び R・I 事務局へ報告することです。

又、世界社会奉仕計画や、小企業相談所に協力を希望するクラブ会員は、国際奉仕計画 (R・Iパンフレット No.706) に記載がありそれからも、世界社会奉仕が出来ます。

以上が、世界社会奉仕の進めかたであります。又、この場合の送金は、全部、在日 R・I 財務代行者 (R・I FISCAL AGENT) 佐藤喜一郎を通じて、R・I に送金するようありました。と云うのは、開発途上国にあるロータリークラブは R・I の会費が、国情法律で、R・I に送金不能のところがあるので、R・I を通じて、送金するようありました。

そのほか、昨年度は「世界社会奉仕の日」が設定致しました。3月28日から4月3日迄の間の、それぞれの例会日を、その日として実施しました。その活動状況をアンケートして、全地区のロータリークラブ会員に参考になれるよう送りました。

5月には、世界社会奉仕活動状況報告書を地区ガバナー並びに R・I 世界知会奉仕副委員長齋木亀治郎先生宛に送らなければなりませんでしたが、その詳細は別に印刷したようにあります。その報告する様式は、

①前年からの継続事業 ②本年計画実施事業 ③次年度へ引続き事業 ④クラブレベルの奉仕の四項目別に報告が求められてあります。

次に昨年度の当地区の、世界社会奉仕は、どんなことを各クラブがやって居られるかを参考するならば、各ロータリークラブ会長、幹事宛に送った。W・C・S ニュース、アンケートや、印刷物等に、書いてあります。

又 (1970~71年) 昨年度の日本各地の世界社会奉仕活動状況調書が、R・I、世界社会奉仕委員会：副委員長齋木亀治郎先生が纏めたのがあります。

又、世界社会奉仕の最良書と思われる。
≡ 世界社会奉仕を考える、の小冊子は、著者バスターガバナー齋木亀治郎先生発行人末正久 (地区幹事) 発行所・国際ロータリー第368区ガバナー事務所から、寄贈されて来たものを参考すれば、この上もないと思います。こんな立派な文献を、お送り出来ましたことも、齋木、末正両様の御好意によるもので、ここに謝意を表します。

以上